

総 会 資 料

平成24年度事業計画（案）

平成24年度当初予算（案）

平成24年度一般会計予算
の概要について

平成24年度事業計画（案） 「フライングは違反ではない」

1. はじめに

診療放射線技師の業務が大きく変わろうとしております。（社）日本放射線技師会が昨年実施した診療放射線技師業務実態調査は、我々診療放射線技師が多方面にわたり、診療行為を行い、医療に貢献していることが証明されました。一方で医行為ではないかとの指摘も一部にあり、グレーゾーンという認識から、業務内容は施設により様々でした。今回実態調査のデータを基に、業務内容について、チーム医療という観点から見直しされ、研修を踏まえて日本中の診療放射線技師が安心して、実行可能となることを期待しております。

（社）埼玉県放射線技師会（以下本会という）は、過去から生涯教育、特に実際の臨床現場で役立つ研修を実施して参りました。胸部や消化管などの認定技師は、研究会の協力を得て他の団体に先駆けて始まり、継続していることに高い評価が与えられております。またマンモグラフィ講習会は、他団体との共催にて実施しております。いずれも今日の講習会のあり方を見通したような運営と思えます。そして今、日本放射線技師会の生涯教育、そして種々のNPO認定機構が誕生してきた中で、見直しも必要かもしれません。

公益社団法人への移行に際しては、再度会員の皆様のご承認をいただき、昨年9月に所轄官庁へ申請させていただきました。公益社団法人は、法人組織として1つ階段を昇った、より成熟した組織と思ひ、ここ数年本会の重要な施策として、また理事の責任として活動してきました。よい結果が出ることを期待しております。

本会は、常に顧客満足という視点から運営してきましたが、本年も同様に会員が期待する職能団体を目指して理事一同全力で走ります。ご支援のほどよろしく申し上げます。

2. 基本方針

- 1) 「improvement改善」と「diversity多様性」
- 2) 「complete lifelong education生涯教育の充実」
- 3) 「study and investigation研究と調査」
- 4) 「cooperation連携からcollaboration協働」

3. 事業計画

3.1 職業人としての質の向上

- 1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ・埼玉診療放射線技師学術大会
 - ・胸部撮影認定講習会
 - ・上部消化管検査認定講習会
 - ・フレッシュャーズ・セミナー（SARTセミナー）
 - ・放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）

- ・CT検査認定講習会
 - ・MRI基礎講習会
 - ・救急セミナー（日本救急撮影技師認定機構との共催）
 - ・読影力向上講習会（地区開催セミナー）
 - ・放射線工業界との合同開催企画
- 2) 会員講師の育成と体制づくり
 - 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ・関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - ・埼玉県医師会主催事業への支援
 - ・埼玉臨床画像研究会
 - ・日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - ・日本放射線技師会との合同開催企画
 - ・各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進）
 - 4) アドバイザー（技術・業務支援）の創設・育成
 - 5) 研修病院紹介などの体制づくり
 - 6) 医療被ばく線量の適正化

3.2 組織運営に関わる事業

- 1) 行政との連携・埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 2) 会員情報の適正管理
- 3) 公益社団法人化への対応

3.3 公益目的事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 地域自治体主催事業への参画
- 4) 医療画像展の開催と支援
- 5) 市民向けホームページの充実
- 6) 医療被ばく相談の迅速な対応

3.4 情報

- 1) 診療放射線技師向けホームページの充実
- 2) メールマガジンの有効利用
- 3) 学術資料などのデータベース化

3.5 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 新公益法人会計基準への移行

3.6 その他

- 1) 役員外の会員登用によるプロジェクトチームの創設
- 2) 中長期計画の策定
- 3) 医療技術関係団体との連携
- 4) 技師会センター長期修繕計画の立案
- 5) 日本放射線技師会主催講習会への協力

ご審議のほどよろしくお願い致します。

平成24年度当初予算（案）

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

科 目	当年度予算額	前年度当初予算額	増減額	備考
事業活動収支の部				
事業活動収入	16,845,000	16,075,000	770,000	
会費収入	11,850,000	11,645,000	205,000	
正会員会費収入	11,250,000	11,070,000	180,000	@9000×1250
賛助会員収入	600,000	575,000	25,000	@25000×24社
事業収入	4,820,000	4,240,000	580,000	
会誌広告料収入	1,620,000	1,740,000	▲ 120,000	@120000×3社 @60000×21社
研修事業収入	2,000,000	2,000,000	0	各種講習会・学術大会
その他の事業収入	400,000	400,000	0	倉庫2F賃貸料
福利厚生事業収入	800,000	100,000	700,000	新春の集い・ソフトボール大会
寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
雑 収 入	175,000	190,000	▲ 15,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑 収 入	165,000	180,000	▲ 15,000	日放技業務委託費@150×1250
事業活動支出	15,687,500	15,550,000	137,500	
事業費支出	9,300,500	9,150,000	150,500	
学術・教育費支出	2,433,000	2,300,000	133,000	各種講習会・学術大会等
出版事業費支出	5,050,000	5,000,000	50,000	会誌印刷・郵送料等
連絡費支出	0	150,000	▲ 150,000	各事業支出へ繰入
福利厚生費支出	400,000	400,000	0	ソフトボール大会・慶弔費
調査事業費支出	0	100,000	▲ 100,000	
公益事業費支出	1,417,500	1,200,000	217,500	医療画像展・公開講座・小冊子被爆相談等
その他の事業費支出	540,000	750,000	▲ 210,000	
表彰費支出	200,000	200,000	0	表彰状作成・記念品等
賃借料支出	340,000	550,000	▲ 210,000	リース代（骨密度測定装置）
管理費支出	5,647,000	5,650,000	▲ 3,000	
給料手当支出	1,126,000	1,150,000	▲ 24,000	人件費
役員報酬支出	100,000	0	100,000	会員外監事
会議費支出	700,000	1,000,000	▲ 300,000	理事会・常任理事会
旅費交通費支出	200,000	200,000	0	交通費
通信運搬費支出	400,000	370,000	30,000	電話料金・インターネット代等
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0	
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
修繕費支出	100,000	100,000	0	
光熱水料費支出	200,000	200,000	0	
賃借料支出	181,000	0	181,000	コピー機・会場費等
租税公課支出	150,000	150,000	0	固定資産税・収入印紙代等
業務委託費支出	900,000	900,000	0	税理士顧問料等
支払手数料支出	300,000	300,000	0	振込手数料等
総会費支出	440,000	430,000	10,000	予算・決算（創立総会含）
保険料支出	150,000	150,000	0	火災保険・障害保険
渉外費支出	100,000	100,000	0	
雑費支出	50,000	50,000	0	
その他の支出	200,000	0	200,000	
法人税、住民税及び事業税	200,000	0	200,000	
事業活動収支差額	1,157,500	525,000	632,500	
投資活動収支の部				
投資活動支出	1,000,000	11,000,000	▲ 10,000,000	
特定資産取得支出	1,000,000	11,000,000	▲ 10,000,000	
記念行事積立資産支出	0	1,000,000	▲ 1,000,000	
減価償却引当資産取得支出	1,000,000	10,000,000	▲ 9,000,000	
有形固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品支出	0	0	0	
投資活動収支差額	▲ 1,000,000	▲ 11,000,000	10,000,000	
予 備 費	0	42,000	▲ 42,000	
当期収支差額	157,500	▲ 10,517,000	10,674,500	
前期繰越収支差額	1,000,000	12,000,000	▲ 11,000,000	
次期繰越収支差額	1,157,500	1,000,000	157,500	

平成24年度一般会計予算の概要

会員の皆さまにおかれましては、平素より当会の事業活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、昨年度の事業実績と平成23年度の予算執行状況、次年度の事業計画に基づき、平成24年度一般会計予算を作成致しました。

以下に昨年度と比較し、大きく変更のあったものについてご報告させていただきます。

1. 事業収入について

「会誌広告料収入」につきましては、掲載広告のサイズ縮小により、昨年度に比べ減額となりました。

「福利厚生事業収入」につきましては、例年の通り賀詞交換会を開催する予定となっておりますので、参加費分が増額となっております。

2. 事業支出・管理費支出について

以前より予算立てをしておりました「連絡費支出」を、次年度からは各事業の「通信運搬費」として振り分けました。また「調査事業費支出」につきましては、次年度事業に調査事業が予定されていないため、予算計上を行っていません。

その他の事業における「賃借料支出」は、公益目的事業にて使用する骨密度測定装置のリース料金のみとし、その他に関しては、管理費に「賃借料支出」の科目を新たに設け、分けて予算計上をしています。

管理費支出では、新たに「役員報酬支出」の科目を設けました。また委員会開催時の会議費は、各事業費に組み入れておりますので、「会議費支出」が減額となっております。

3. 投資活動支出

昨年度同様、年度の繰り越し収支差額が1,000,000円弱と予想されるため、遊休財産とならないよう、減価償却引当資産取得支出として積み立てを予定しています。

以上が平成24年度一般会計予算の概要となります。

次年度予算につきましては、公益法人認定取得後の予算となりますので、予算書の書式が従来のものから、損益計算書ベースのものへ変更となります。しかしながら、新書式の予算書では昨年度との比較が困難のため、従来書式のことを資料として提示させていただきます。

ご審議のほどよろしくお願い致します。